



おかやま河川だよりをご覧頂いた方から沢山のご意見、ご質問をいただきました。誠にありがとうございます。

今回は、ご意見・ご要望が多い伐木に関するご質問にお答えいたします。

Q

河川の中にたくさんの木や竹が繁茂していますが、洪水時の水の流れが悪くならないでしょうか。心配なので、早く木を切って欲しい

A

岡山河川事務所が管理する吉井川、旭川、高梁川において、伐木に関する要望がたいへん多く、このため洪水時に水の流れを妨げている箇所については、自然環境に配慮しながら計画的に伐採を行っています。

しかし、伐採した樹木の処分に多大な費用がかかっており、平成16年度から伐採木の有効利用及びコスト縮減を図るため、伐採木の無料配布を行っています。

また、昨年度は地域の方々にご協力頂き、「伐木ボランティア」のみなさんとの協働作業による伐採も行いました。



平成20年6月23日  
伐採木の無料配布(旭川)



平成20年1月27日  
伐木ボランティア(高梁川)

## 高梁川で取水制限を実施

～ダム貯水率が低下～

高梁川流域では、6月以降の降水量が平年の半分以下と少なく、上流にある6つのダムの貯水率が急激に減少したため、高梁川の河川管理者と利水者で組織する高梁川水系水利用協議会(第1回渇水調整会議)において、「生活用水5%、工業用水10%、農業用水20%」の第一次取水制限を実施することを決定しました。

この決定を受けて、8月28日から取水制限を開始し、その後降雨による一時解除はありましたが、9月10日に再開して以降9月末まで取り組みを続けた結果、貯水率が最低で37.2%まで減少したものの、大幅な低下を回避することができました。

しかし、ダム貯水率は冬季渇水に至った昨年より更に低く、長期的に安心できる状況でないことから、第3回渇水調整会議において、10月以降も「生活用水5%、工業用水5%、農業用水10%」(かんがい期を終えた農業用水の取水量の減少を考慮して若干緩和)の取水制限を引き続き実施することを決定しました。

高梁川の水は、西は笠岡市から東は玉野市にまで及ぶ広範囲な地域で、生活用水、工業用水、農業用水に利用されており、その水源であるダムからの水供給が大いに役立っています。

みなさんも限りある水資源を大切に使用していただくようご協力をお願いします。



第2回渇水調整会議の開催状況  
(平成20年9月5日)